

無歯顎印象のニュースタンダード。
2種類のエクザデンチャーで簡便・確実な印象採得。



トレーの辺縁部にアドヒーシブを塗布・乾燥する

エクザデンチャー® ボーダータイプ



辺縁部全周に「ボーダータイプ」を盛り上げる

親水性ビニルシリコン印象材(辺縁形成用)



辺縁形成を容易にする
優れた操作性



口腔内に配接・機能運動し、辺縁形成を行う

エクザデンチャー®

親水性ビニルシリコン印象材(口腔内粘膜印象用)



必要に応じて余剰部を削除し、「エクザデンチャー」の入るスペースを確保する



わずかな圧で
優れた流動性を発揮!



アドヒーシブを塗布・乾燥後、「エクザデンチャー」を盛り上げ口腔内で筋形成を行う



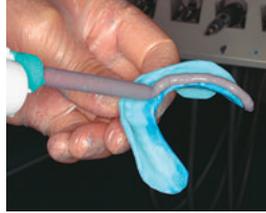
「エクザデンチャー ボーダータイプ」で辺縁形成した後に、「エクザデンチャー」で仕上げ印象を行うことにより、口腔粘膜の形状を的確に再現した確実な印象採得が簡単に行えます。

無歯顎の印象採得に最適なシリコーン印象材 エクザデンチャー シリーズ。

エクザデンチャー® ボーダータイプ

辺縁形成に適した操作性。

エクザデンチャー ボーダータイプは辺縁形成に最適な印象材です。カートリッジタイプなので辺縁に均一な厚みで盛り上げることができるのはもちろんのこと、1回で全周に盛り上げられるため、治療時間が大幅に短縮でき、患者さんの負担も軽減されます。



垂れることなく、均一な厚みに盛り上げられます。



辺縁形成後の印象面。

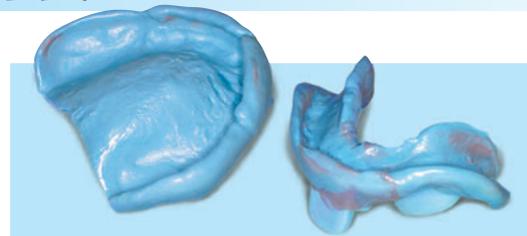


硬化後のトリミングも容易に行えます。

エクザデンチャー®

優れた流動性で確実な仕上げ印象。

エクザデンチャーの練和後のペーストはタレにくいいため、トレーへの盛り上げや口腔内への挿入が容易。しかも、わずかな印象圧で優れた流動性を発揮するため、無歯顎口腔粘膜の形状を的確に再現。ボーダータイプによる辺縁形成後の仕上げ印象材として、確実な無歯顎の印象採得が行えます。



「エクザデンチャー ボーダータイプ」と「エクザデンチャー」を使用した印象採得。

●流れずに扱いやすい稠度



練和後のエクザデンチャーは自然フローがなく、盛り上げたカタチを維持しています。

●加圧したときの流動性



エクザデンチャーは、わずかな加圧を与えるだけで、優れた流動性を発揮します。

試験方法:0.5mLの印象材(練和開始90秒後)に1.500gの荷重を2秒間かけたもの。



エクザデンチャー®

親水性ビニルシリコーン印象材(口腔内粘膜印象用)

カートリッジ

包装●1函:カートリッジ67g(48mL)2個、ミキシングチップII S8本

チューブ

包装●1函:ベースペースト70g(50.4mL)1本、キャタリストペースト70g(50.4mL)1本、アドヒーシブ8g1本、リターダー3g1本、練和紙(No.2)1冊=

単品包装

包装●
チューブ:ベースペースト70g(50.4mL)1本
チューブ:キャタリストペースト70g(50.4mL)1本
アドヒーシブ:8g1本
リターダー:3g1本

(アドヒーシブ、リターダーはエクザファイン、エクザハイフレックスと共用です)

エクザデンチャー® ボーダータイプ

親水性ビニルシリコーン印象材(辺縁形成用)

包装●1函:カートリッジ80g(48mL)2個、ミキシングチップII L6本

*エクザデンチャー ボーダータイプはカートリッジタイプのみの販売です。

関連製品



カートリッジディスペンサーII
包装●1個

物理的性質表

	エクザデンチャー	エクザデンチャー ボーダータイプ
操作余裕時間	2分30秒	2分00秒
口腔内保持時間	3分	3分
弾性ひずみ(%)	4.0	2.3
永久ひずみ(%)	0.8	0.5
寸法変化(%)	-0.10	-0.10
石ごとの適合性(mm)	0.02	0.05

JIS T6513Iによる参考データ

ジーシー エクザデンチャー ボーダータイプ/ジーシー エクザデンチャー 管理医療機器 23BZ0035

*色調は印刷のため、現品と若干異なることがあります。
掲載の参考データは、2008年3月現在のものです。

ご使用に際しては、必ず製品の添付
文書をお読みください。

発売元 株式会社 ジーシー / 製造販売元 株式会社 ジーシーデンタルプロダクツ
東京都板橋区蓮沼町76-1 愛知県春日井市鳥居松町2-285

DIC(デンタルインフォメーションセンター)
フリーダイヤル ☎0120-416480

受付時間9:00a.m.~5:00p.m.(土曜日、日曜日、祭日を除く)

<http://www.gcdental.co.jp/>

支店

●東京(03)3813-5751 ●大阪(06)4790-7333

営業所

●北海道(011)729-2130 ●名古屋(052)757-5722

●東北(022)283-1751 ●九州(092)441-1286